

議題2 2021年度 東京 PCB 処理事業所 長期処理計画(改訂版)

1. 2021年度 東京 PCB 処理事業所 長期処理計画(改訂版)

1) 長期処理計画における処理対象量

2) 2021年度 東京事業所での処理対象物の処理計画

(1) 変圧器

(2) コンデンサー

(3) 廃 PCB 油

(4) リン含有 PCB 油

3) 5 事業所エリア間の処理

(1) 東京事業所に他事業所から受け入れて処理

(2) 東京事業エリア分を他事業所で処理

1. 2021 年度 東京 PCB 処理事業所 長期処理計画(改訂版)

2014 年 6 月に変更された国の「PCB 廃棄物処理基本計画」において、保管事業者が当社へ処理委託を行う期限(計画的処理完了期限)と、新規に発覚した高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物や処理が容易ではない機器の処理、事業終了のための準備を行うための期間(事業終了準備期間)が定められた。これを確実に実行するため、2016 年 8 月に PCB 特措法が改正され、原則、処分期間(計画的処理完了期限より 1 年前)までに PCB 廃棄物の処理を委託することが定められている。東京 PCB 処理事業所(以下、東京事業所)では、2021 年度が処分期間、2022 年度が計画的処理完了期限、2023 年度から 2025 年度が事業終了準備期間である。

東京事業所では、2015 年 11 月末時点での長期処理計画を取りまとめ 2015 年度版として最初に報告した。その後、毎年見直しを行い 2021 年度版の長期処理計画は、入手した最新(2021 年 8 月 1 日)の登録、届出データをもとに更新し、第 45 回 環境安全委員会(2021. 10. 26 開催)を報告した。

今回の長期処理計画改訂版では、計画的処理完了期限の 2022 年度の精度を上げるため、再度最新情報の登録、届出データを精査して処理対象量を見直し、2 月末での実績見通し値(2 月末処理実績と 3 月度見込み値)と改定した。

第 45 回 環境安全委員会(2021. 10. 26 開催)の長期処理計画では、「2023 年度以降、事業終了準備期間内に新たに対象物が発見された場合には、その状況に応じて計画を検討する。」と報告していたが、環境省第 30 回 PCB 廃棄物適正処理推進に関する検討委員会(2021 年 10 月 21 日開催)において、5 事業地域それぞれの処理対象量の増分と処理の見通しが示され、各事業エリアの今後の掘り起こし見込み量(東京事業エリアの今後の掘り起こし見込み量は 371 台)が示され、また、新規発掘に対応するとともに、行政代執行の日程を考慮するため、事業終了準備期間も処理を継続し、少なくとも令和 5 年度までは処理を継続するという方針が示された。別紙—1 に示す。

(資料 1-2 高濃度 PCB 廃棄物の今後の処理方針の「5 事業地域それぞれの処理対象量の処理の見通し」)「今後の掘り起こし見込み量」は、計画的処理完了後に新規発見されることを見込んでおり、東京事業エリアと廃粉末活性炭の払出元の大阪事業エリアの処理完了見込みが「R5 年度末」(2023 年度末)となっている。そのため、2023 年度以降については、欄を設けて「—」として記載した。

今後新たに掘り起こされるものについては、計画的処理完了期限内では、その都度処理対象に加え、事業終了準備期間については、今後示される国の方針に沿った期間に処理を行うことを検討する。

1) 長期処理計画における処理対象量

今回の最新情報による処理対象量の見直し内容は、「JESCO 登録量」では、2022年3月1日現在の JESCO 登録済で未処理物のデータ内容を精査して、非高濃度（低濃度及び非 PCB）分を対象から除外した未処理数量を把握して更新、「JESCO 未登録量」では、未登録情報を管理している各自治体に 2022年2月時点の情報を照会し、非高濃度と判明するなど取り下げとなったものを除外した未登録量の最新データを把握して更新した。表 1 に東京事業エリアの処理対象量を示す。

変圧器の対象量変化は、全て減少して登録 6 台減、未登録 39 台減の合計 45 台減少した。

コンデンサーの対象量変化は、未登録から登録への移行と新規登録も有り、登録が 942 台増、未登録が 496 台減、合計が 446 台増加となった。登録率は変圧器 99.6%，コンデンサー 99.97% と進捗した。

表 1 東京事業エリアの処理対象量(変圧器・コンデンサー)と登録・未登録台数の状況

種別・区分	変圧器（台）				コンデンサー（台）			
	JESCO 登録量 ①	JESCO 未登録量 ②	処理 対象量 ③ (①+②)	登録率 (%) ①/③	JESCO 登録量 ①	JESCO 未登録量 ②	処理 対象量 ③ (①+②)	登録率 (%) ①/③
2021年8月1日現在	3,770	54	3,824	98.6	90,362	521	90,883	99.4
2022年3月1日現在	3,764	15	3,779	99.6	91,304	25	91,329	99.97
増減	▲ 6	▲ 39	▲ 45	—	942	▲ 496	446	—

2)2021 年度 東京事業所での処理対象物の処理計画

2021 年度の東京事業所での処理対象物の処理計画を 2 月末での実績見通し値（2 月末処理実績と 3 月度見込み値）に改定して対象物ごとに報告する。

(1)変圧器

- ・表 2 に変圧器の処理計画（改訂版）を、図 1 に処理実績と今後の処理計画を示す。
- ・2020 年度末の累積処理量は 3,721 台、進捗率は 97.6%である。
- ・2021 年度は、2 月末までに 52 台の処理が完了した。
- ・2021 年度の 3 月度に 26 台処理を予定し、2021 年度の実績見込量は 78 台である。
- ・2021 年度末の累計処理量は 3,799 台、進捗率は 99.6%に達する予定であり、JESCO 登録分の処理が完了する見込みである。
- ・2022 年度は、未登録の 15 台の処理予定であり、計画的処理完了期限までに処理を完了する予定である。
- ・なお、累積処理量には、北海道事業エリア分の超大型変圧器 5 台、豊田事業エリアの車載型変圧器 30 台、が含まれている。

表 2 変圧器の処理計画(改訂版)

2020年度末 累積処理量	2021年度 2月末 処理実績量	2021年度 3月 処理見込量	2021年度 実績見込量	2021年度末 累積処理量	処理計画		処理対象量
					2022年度	2023年度～	
3,721台 (97.6%)	52台	26台	78台	3,799台 (99.6%)	15台*	—	3,814台 (100%)

() 内は処理対象量に対する累積処理量%

*残り未登録は15台（2022年3月1日現在）

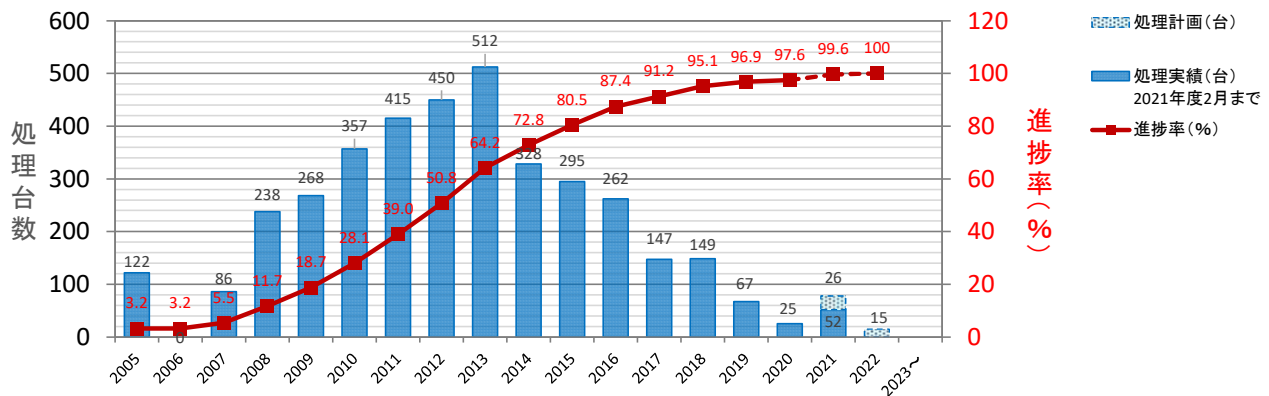


図1 変圧器の操業開始時からの処理実績と今後の処理計画

(2)コンデンサー

- ・表3にコンデンサーの処理計画を、図2に処理実績と今後の処理計画を示す。
- ・2020年度末の累積処理量は75,893台、進捗率は89.9%である。
- ・2021年度は、2月末までに6481台の処理が完了した。
- ・2021年度の3月度に519台処理を予定し、2021年度の実績見込量は7,000台である。
- ・2021年度末の累計処理量は82,893台、進捗率は98.2%に達する予定である。
- ・2022年度は、未登録の25台を含み1,511台の処理予定であり、計画的処理完了期限までに処理を完了する予定である。

表3 コンデンサーの処理計画

2020年度末 累積処理量	2021年度 2月末 処理実績量	2021年度 3月 処理見込量	2021年度 実績見込量	2021年度末 累積処理量	処理計画		処理対象量
					2022年度	2023年度～	
75,893台 (89.9%)	6,481台	519台	7,000台	82,893台 (98.2%)	1,511台*	—	84,404台 (100%)

() 内は処理対象量に対する累積処理量%

*1,511台中25台はJESCO未登録、その内15台は重量区分不明(2022年3月1日現在)

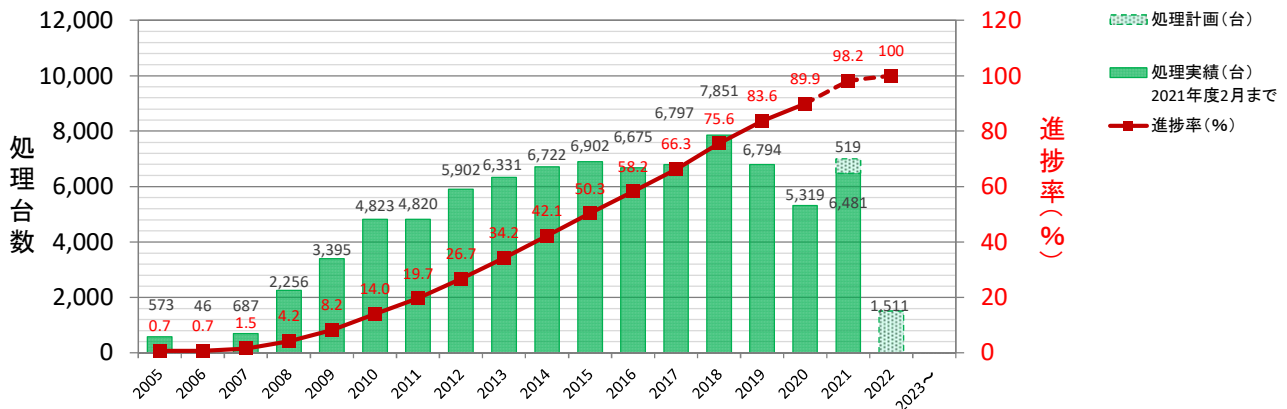


図2 コンデンサーの操業開始時からの処理実績と今後の処理計画

(3) 廃 PCB 油

- ・表 4 に廃 PCB 油の処理計画を示す。
- ・2020 年度末の累積処理量は 70 t、進捗率は 86.4%である。
- ・2021 年度は、2 月末までに 7 t の処理が完了した。
- ・2021 年度の 3 月度に 3 t 処理を予定し、2021 年度の実績見込量は 10 t である。
- ・2021 年度末の累計処理量は 80 t、進捗率は 100%に達する予定であり、JESCO 登録分の処理が完了する見込みである。

表 4 廃 PCB 油の処理計画

2020年度末 累積処理量	2021年度 2月末 処理実績量	2021年度 3月 処理見込量	2021年度 実績見込量	2021年度末 累積処理量	処理計画		処理対象量
					2022年度	2023年度～	
70t (86.4%)	7 t	3 t	10 t	80 t (100%)	—	—	80t (100%)

() 内は処理対象量に対する累積処理量%

(4) リン含有 PCB 油

- ・表 5 にリン含有 PCB 油の処理計画を示す。
- ・2020 年度末の累積処理量は 130 t、進捗率は 45.3%である。
- ・2021 年度は、2 月末までに 140 t の処理が完了した。
- ・2021 年度の 3 月度に 17 t 処理を予定し、2021 年度の実績見込量は 157 t である。
- ・2021 年度末の累計処理量は 287 t、進捗率は 100%に達する予定であり、JESCO 登録分の処理が完了する見込みである。

なお、保管事業者より 3 月 8 日の搬入を最後に、リン含有 PCB 油を保管タンクからドラム缶へ拔出することができなくなり、底部にスラッジが残っている旨の連絡を受けた。スラッジは、保管事業者がタンクから抜き出してドラム缶に回収し、その他汚染物として北海道事業所で処理されることとなるが、上澄み液が生じた場合には、2022 年度に当事業所で処理する予定である。処理量及び搬入時期等については、今後、保管事業者と協議していく。

表 5 リン含有 PCB 油の処理計画

2020年度末 累積処理量	2021年度 2月末 処理実績量	2021年度 3月 処理見込量	2021年度 実績見込量	2021年度末 累積処理量	処理計画		処理対象量
					2022年度	2023年度～	
130t (45.3%)	140 t	17 t	157 t	287t (100%)	—	—	287t (100%)

() 内は処理対象量に対する累積処理量%

3)5 事業所エリア間の処理

2014年6月にPCB廃棄物処理基本計画が改定され、一部のPCB廃棄物は全国5箇所の当社PCB処理事業所間を移動して処理できることとなった。

他事業エリアから東京事業所への受け入れ処理、東京事業エリア（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）分の他事業所での処理の概要は以下の通りである。

(1) 東京事業所に他事業所から受け入れて処理

- ・表6に東京事業エリア外からの処理対象物を示す。
- ・北海道事業エリアの超大型変圧器5台、豊田事業エリアの車載型変圧器30台を東京事業所に受け入れ、処理は2019年度までに完了している。

表6 東京事業エリア外からの処理対象物

事業エリア	種別・区分等	処理対象量	処理実績
北海道	超大型変圧器	5台	5台（完了）
豊田	車載変圧器	30台	30台（完了）

- ・廃粉末活性炭の処理計画を表7に示す。2014年の「PCB廃棄物処理基本計画」の改訂により北九州並びに大阪事業所から受け入れて処理するもので、2015年度よりスラリー化設備を増設し、同年より北九州並びに大阪事業所から受け入れ・処理を開始した。
- ・2020年度末の累積処理量は150t、進捗率は72.8%である。
- ・2021年度は、2月末までに24tの処理が完了した。
- ・2021年度の3月度に1t処理を予定し、2021年度の実績見込量は25tである。
- ・2021年度末の累計処理量は175t、進捗率は85.0%に達する予定である。
- ・2022年度は、31tの処理予定であり、処理が完了する見込みである。

表7 東京事業エリア外からの処理対象物(廃粉末活性炭)の処理計画

2020年度末 累積処理量	2021年度 2月末 処理実績量	2021年度 3月 処理見込量	2021年度 実績見込量	2021年度末 累積処理量	処理計画		処理対象量
					2022年度	2023年度～	
150t (72.8%)	24t	1t	25t	175t (85.0%)	31t	—	206t (100%)

() 内は処理対象量に対する累積処理量%

(2) 東京事業エリア分を他事業所で処理

- ・表 8 に他事業所への依頼処理の計画を示す。
- ・東京事業エリアのコンデンサーの一部は北九州事業所で処理しており、6,925 台を依頼し、処理を 2018 年度までに完了している。
- ・東京事業エリアの安定器、その他の汚染物等は全量を北海道事業所に処理を依頼しており、2022 年 2 月末までに約 4,100t を依頼し、今後の依頼分は約 2,200t である。

表 8 他事業所への依頼処理の計画

処理依頼先 事業所	種別・区分	2022年2月まで の処理完了分	今後の依頼分	依頼数量	計画的 処理完了期限
北九州（完了）	コンデンサー（台）	6,925	—	6,925	2019年3月31日
北海道	安定器（t）	4,035	1,988	6,023	2024年3月31日
	その他の汚染物等（t）	96	201	297	